

# 『小児消化管内視鏡検査の鎮静を小児診療看護師(NP)が介入した際の安全性について』

## に対するご協力のお願い

研究の目的と意義	近年、炎症性腸疾患の患者さんの増加に伴い小児消化管内視鏡検査の需要が増加しています。小児消化管内視鏡検査は、患者さんの不安やストレス、痛みなどを軽減する目的で鎮静・鎮痛薬を使用しますが、当院では全身麻酔ではなく静脈麻酔で実施しています。当院の小児消化管内視鏡検査の鎮静・鎮痛による有害事象について実態調査を行いたいと考えています。
研究の方法	小児肝臓消化器科に入院し、小児消化管内視鏡検査を行った患者さんのデータを電子カルテから情報収集します。
対象者	2023年4月1日～2025年9月30日の間に小児肝臓消化器科に入院し、小児消化管内視鏡検査を行った患者さん。
利用する試料/情報	情報等：診断名、治療歴、年齢、性別、生年月、内視鏡検査等
利用する試料/情報の取得方法	診療で得られた診療録等から取得。
利用する試料/情報の管理責任者・住所	済生会横浜市東部病院 院長 〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1
研究組織	当院単独研究
試料/情報の院外提供	該当なし
結果公表	小児栄養消化器肝臓学会で発表と投稿を予定しています。
研究参加拒否・同意撤回	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、西暦2026年12月31日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 診療看護師室/スタッフ/大石直之
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000(代表) 済生会横浜市東部病院 診療看護師室/大石直之